

令和 8 年度 はーとさぽーと阿久和（生活介護） 事業計画

わーくさぽーと 全体理念	「4つの個別支援をする」 ● 利用者が主体性を持って作業ができる個別支援 ● 自立した生活を営むことができる個別支援 ● 個性を大事にする個別支援 ● ニーズとデマンドに沿った個別支援																								
基本方針	・ 利用者が自立した普通の生活を営むことができる支援をしていく																								
重点項目	・ 利用者一人一人の生活リズムや利用者の心身機能を把握していき、全員職員に共有をし定期的なカンファレンスを実施していく。 ・ 当事業所への通所が利用者の生活リズムの一部となり、支援を提供すると同時に同じ時間、空間を共に過ごす安心ある場所作り ・ 社会貢献に連動する社会性作業を日常生活の維持するための労働として確立し、実りある作業内容を検討していく ・ わーくさぽーと阿久和、おれんじハウス、計画相談けいせい（障がい事業部）間で管理者動詞の連携、職員間の連携を密にし、運営の協働をし事業部の一体化を目指す。 年間利用延べ人数目標：約 1,500 名 年間収入：9,982,000 円 年間平均稼働率目標（1 日平均目標人数） 最高：100%（6 名） 年間稼働目標 6 名／ 6 名（目標 / 定員）稼働日数（土日祝除く） <table><tr><td>4 月</td><td>126 名 21 日</td><td>10 月</td><td>120 名 20 日</td></tr><tr><td>5 月</td><td>108 名 18 日</td><td>11 月</td><td>114 名 19 日</td></tr><tr><td>6 月</td><td>132 名 22 日</td><td>12 月</td><td>114 名 19 日</td></tr><tr><td>7 月</td><td>132 名 22 日</td><td>1 月</td><td>120 名 20 日</td></tr><tr><td>8 月</td><td>126 名 21 日</td><td>2 月</td><td>120 名 20 日</td></tr><tr><td>9 月</td><td>108 名 18 日</td><td>3 月</td><td>138 名 23 日</td></tr></table>	4 月	126 名 21 日	10 月	120 名 20 日	5 月	108 名 18 日	11 月	114 名 19 日	6 月	132 名 22 日	12 月	114 名 19 日	7 月	132 名 22 日	1 月	120 名 20 日	8 月	126 名 21 日	2 月	120 名 20 日	9 月	108 名 18 日	3 月	138 名 23 日
4 月	126 名 21 日	10 月	120 名 20 日																						
5 月	108 名 18 日	11 月	114 名 19 日																						
6 月	132 名 22 日	12 月	114 名 19 日																						
7 月	132 名 22 日	1 月	120 名 20 日																						
8 月	126 名 21 日	2 月	120 名 20 日																						
9 月	108 名 18 日	3 月	138 名 23 日																						
稼働目標 （利用見込）	令和 7 年度、利用定員は前年より継続予定。 最高として 6 名全員の利用を見込むが、障がい状況や通院等の欠席を加味。 平均 5 名以上の利用を最低限の目標とする。																								
予算	・ 人員配置については、事業運営上最低基準の見込み ・ 体力等に配慮しながら、屋外や外出等のプログラムを実施。 ・ 水道光熱費等経費の削減。																								

事業内容	障害者総合支援法における生活介護事業 日常生活の介護や創作活動、生産活動の機会を提供。また、身体機能や生活能力に関する支援を行うことで能力の向上をはかる
サービス内容 (支援内容)	各利用者の社会生活、日常生活技能にあわせた支援を行い、社会生活技能の向上を図る。できることが増えることで、自己理解をすすめ、意欲および身体機能の維持・向上をめざす。 ・日々の創作活動、軽作業の受託、定期的な運動 ・外出訓練などによる、地域での生活力の向上を目指す。 ・地域イベントに参加。積極的な交流による、認知・会力の向上。
管理体制 (組織図)	 <pre> graph LR Manager[管理者] --- SMR[サービス管理責任者] SMR --- LSA[生活支援員] SMR --- Doctor[医師] SMR --- Nurse[看護師] </pre>
年間行事	・避難訓練、防災訓練（４月、１０月） ・虐待、事故防止研修（５月、１１月） ・BCP研修（６月、１２月） 随時：ケース会議、入所判定会議、支援技術に関する研修
その他	・防災訓練については、可能な範囲で地域自治会とも交流。 ・ニッ橋第二地域ケアプラザ内になる購買（ふわっと）の販売補佐（品質管理等）と通じて社会貢献、地域との交流の場を提供していく ・支援員については、感染症対策委員会 虐待防止委員会 身体拘束防止委員会 事故対策（ヒヤリハット）等リスクマネジメント委員会 防災関係委員会等各委員会活動や内部研修の実施 瀬谷区自立支援協議会（代表者会議 交流会議 日中活動支援会議 相談支援会議）への参加 西部地域精神保健福祉就労支援ネットワークへの参加 各研修及び資格取得のための講習等への参加を推進